

議会だよりは市民のみなさんと
議会をつなぐ「かけはし」です
ぜひ御一読を



かつなりくん

かりや

K

市議会

だより

〈第144号〉

～刈谷市議会は、議会基本条例を制定し「市民に開かれた議会」・「市民に信頼される議会」を目指して議会活性化に取り組んでいます。～

4月

刈谷市立

刈谷特別支援学校

開校



特色

- 小垣江東小学校併設
- 小学部・中学部・高等部設置
- 刈谷市・知立市・高浜市が通学区域
- 刈谷豊田総合病院と連携

「人が輝く 安心快適な産業文化都市」の実現
平成30年度予算を可決 総額約930億円
 都市と自然が共存した魅力ある住みよいまち
 生きる喜びを実感できるまちを目指して
 (関連2、3ページ)

主な記事	ページ
30年度予算	2～3
主な議案	4
委員会の動き	4～5
議決結果	5
質問・質疑	6～8



3月定例会のあらまし

この定例会は2月15日に招集され、会期37日間で3月23日に閉会しました。今回は議案など30件が提出されました。

◆2日 予算審査特別委員会
 予算議案は分科会を設置して審査することとしました。

◆2月15日 本会議
 (施政方針、議案説明など)

市長から平成30年度施政方針と提出した議案の大綱についての説明があり、続いて教育長から平成30年度教育行政方針が述べられました。

その後、損害賠償の額を定める専決処分報告などがありました。

◆7日～9日・12日 委員会、分科会
 議案や陳情が審査され、委員会や分科会での採決が行われました。

次に、刈谷市職員退職手当支給条例の一部を改正する条例の一部改正についてなど15議案、平成29年度補正予算関係3議案、平成30年度予算関係8議案の説明を受け、関係する委員会を審査することとしました。

◆22日 予算審査特別委員会
 分科会での審査の経過と結果が報告され、予算議案の採決が行われました。

◆2月28日～3月2日 本会議(質問・質疑)
 18人の議員が38項目にわたり、一般質問と平成30年度予算の質疑を行いました。

◆23日 本会議(採決)
 各委員長より、委員会での審査の経過と結果が報告されました。一部の議案について、反対意見がありました。採決の結果、議案はすべて原案のとおり可決されました。

また、平成29年度刈谷市一般会計補正予算(第6号)が上程され、原案のとおり、可決されました。

3月定例会での傍聴者は延べ127人です。

～傍聴をお待ちしています～

※6月定例会の開催予定※

- 6月 1日(金) 議会運営委員会(運営を協議)
- 13日(水) 本会議(開会、一般質問など)
- 14日(木) 本会議(一般質問)
- 15日(金) 本会議(一般質問、議案説明)
 予算審査特別委員会
- 19日(火) 企画総務委員会
- 20日(水) 福祉産業委員会
- 21日(木) 建設委員会
- 22日(金) 市民文教委員会
- 28日(木) 予算審査特別委員会
 議会運営委員会(運営を協議)
- 29日(金) 本会議(採決など)

各会議は10時から17時まで(進行状況などにより、変更する場合があります)。傍聴の際は、当日次の受付へ。

- 本会議：市役所10階、傍聴受付
- 委員会：市役所9階、議会事務局受付
- 託児を希望される方へ(生後6か月以上の未就学児、先着順)
 臨時保育室「カンガルールーム」をご利用いただけます。
 傍聴希望日の3日前までに議会事務局までご連絡ください。
- 手話通訳・要約筆記を希望される方へ
 傍聴希望日の1週間前までに議会事務局までご連絡ください。
- 一般質問KATCH放送(地上デジタル11チャンネル)
 6月19日(火)、20日(水)、22日(金)でいずれも18時から詳しくはチャンネルガイドをご覧ください。



※QRコードはデンソーウェブの登録商標です

平成30年度予算関係

平成30年度予算は、本会議での質問・質疑に続き、全議員で構成する予算審査特別委員会を経て、各分科会で審査されました。

本会議での質疑

質問・質疑では、市長にその方針を問いました。本会議での質問・質疑については、6～8ページの「質問・質疑」をご覧ください。

分科会・委員会での審査

質問・質疑終了後、予算審査特別委員会を経て各分科会で審査されました。

22日に開催された予算審査特別委員会では、各分科会での審査の経過と結果が報告され、一般会計、国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険の各特別会計の計4議案に反対の意見がありました。採決の結果、賛成多数により原案のとおり可決されました。

23日の本会議では、予算審査特別委員会の報告を受け、討論が行われました。

討論では、刈谷城築城に関する予算が含まれていること、給食費及び放課後児童クラブの利用料の値上げに関する予算が含まれていること、国民健康保険制度の国庫負担金の増額を求めるとの意見が出されましたが、採決の結果、議案はいずれも原案のとおり可決されました。

【分科会での主な質疑】

■企画総務

第8次刈谷市総合計画策定事業
問 第8次刈谷市総合計画の策定スケジュールは。

答 平成30年度は、人口推計や市民意識調査、第7次計画の達成度調査などの基礎調査を実施し、策定に向けた基本的な方向性を検討していく予定である。31年度は、検討組織を立ち上げ、計画の素案づくりを進め、32年度は、素案をもとに、パブリックコメントの実施や総合計画審議会での審議を経て、第8次総合計画を策定していきたいと考えている。

問 どのような検討組織で素案づくりを行っていくのか。

答 職員によるプロジェクトチームや住民会議などの市民参加機会の確保などにより、素案の策定を進めていく予定である。

問 ポータルアプリ情報配信事業

問 アプリのPRをどのように行うのか。

答 刈谷市メール配信サービスなどの登録者にお知らせし、アプリの利用を促す。その他、市公式SNSにより若い世代に情報を拡散することで周知を図っていく。

問 防犯メールもアプリに統合されるのか。

答 従来どおり刈谷市メール配信サービスを継続するが、現在配信されている「防災情報」

「気象情報」「防犯・学校情報」は、アプリでも受信できるようにする予定である。

問 市民からの投稿機能はどのような内容か。

答 市民が道路の陥没やカーブミラーの不具合などに気付いたとき、位置情報を付けた写真を担当部署に送信できる機能を持たせたい。



アプリを使ってどこでも投稿

■福祉産業

問 事業の概要は。

答 QRコードが印刷されたシールやラベルを無料で配付し、介護者などはそれらを徘徊症状のある高齢者などの靴や衣服に貼ることになる。このことで徘徊高齢者を発見した者がQRコードを読み取り、情報を書き込むことが可能となり、迅速な所在確認や安全確保につながっていく。また、刈谷市メール配信サービスに、徘徊者に関するカテゴリを新たに設け、広範囲にわたり協力を呼びかけていく。

問 対象者の要件及び人数、並びに登録者数は。

答 対象者は、介護保険法に基づき要介護認定または要支援認定の有無にかかわらず、認知症の疑いのある65歳以上の者や、若年性認知症の者になる。徘徊の恐れのある認知症高齢者数は180人程度と推測され、現在の登録者数は41人である。

■農畜産物特産化補助事業

問 地理的表示登録制度の概要及び補助事業の内容は。

答 地理的表示登録制度は、伝統的な生産方法や、生産地の特性が品質などに結びついている産品の名称を知的財産として登録し、保護する制度である。補助事業の内容は、地理的表示登録制度に登録する生産者団体に対し、登録申請に要する費用を補助するものである。

問 登録する予定の農産物は。

答 登録要件などを勘案すると、黄色小玉スイカが適しているのではと考えており、現在、関係団体と調整を行っている。



甘くておいしい黄色小玉スイカ

■建設

■銀座A B地区整備事業

問 現在の進捗状況と工事における安全対策は。

答 現在は基礎工事を進めている。工事においては、児童・生徒の通学する時間帯に資材や重機の搬入出をしないルールを設けること、車両の通行ルートを制限すること、また、現場の出入口には交通誘導員を常時配置することなどにより、安全対策に取り組んでいる。

問 今後の工事予定は。

答 平成30年度から本体の躯体の施工に着手し、1年でおお

むね20階まで建ちあがる予定である。その後、平成32年3月に工事が完了する予定である。



銀座A B地区のイメージパース

■市街地整備調査推進事業

問 住居系拡大市街地である小垣江町北部地区の事業目的は。

答 都市基盤の整備に向けた調査、関係権利者のまちづくり意識の醸成や合意形成を支援し、市街地整備の事業化促進を図るものである。

問 住居系拡大市街地の小垣江町北部地区と工業系拡大市街地の依佐美地区では、事業の進捗状況に差があるが、理由は。

答 工業系と住居系では事業手法や規模が異なることから、進捗の違いが出ている。

問 小垣江町北部地区の整備完了予定時期は。

答 関係権利者の合意形成とあわせ、整備スケジュールを作成していきたいと考えている。

■市民文教

■トヨタモーター展開催事業

問 トヨタモーター展を開催する狙いは。

答 トヨタモーターとは、自動車用補助エンジン及びオートバインのブランド名で、戦後間もない頃に、本社と組立工場が現在の神田町にあった。今回の展示会は、戦後の経済復興の中で全国的に人気を博しながら、今日では知る人も少なくなっ

つたトヨタモーターに光を当て、本市の文化や歴史への興味・関心、また、愛着を深めていただくために開催するものである。

問 今後も同様の企画を継続して行っていくのか。

答 平成31年3月に開館予定の歴史博物館などの施設と連携しながら、市民の文化及び教養の向上を図るため、今後も積極的に開催したいと考えている。



トヨタモーター刈谷組立工場 1950年頃 (写真提供：名古屋郷土二輪館)

■中高生の居場所づくり事業

問 事業内容は。

答 毎週火曜日と木曜日の午後4時から9時まで、総合文化センター1階談話コーナーにおいて、中高生が放課後に気軽に立ち寄り、仲間との交流や自主活動などを自由に楽しむ居場所を提供する事業で、「なごみんはあと」の愛称で親しまれている。本事業は、NPOに委託して運営しているが、大学生スタッフを配置し、仲間としての相談を行うピアカウンセリングや自主学習のサポートを行っている。

問 北部地区や南部地区に拡大する方針は。

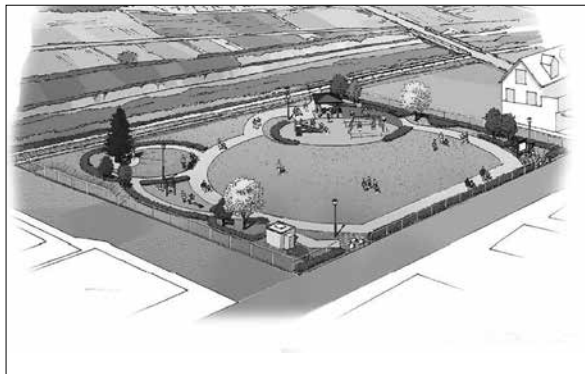
答 「なごみんはあと」の利用実績、新たな設置に要する担い手の確保、開設場所の選定などについて総合的に判断し、検討していく。

平成30年度予算に見る主要事業

都市環境分野・・・

都市と自然が織りなす住みよいまちづくり

- ◆地球温暖化対策の一環として、市民が行う蓄電・充電システムの設置費用を一部補助。
- ◆青山斎園霊堂の2階に納骨堂を増設し、市民の需要に対応できる環境を整備。
- ◆井ヶ谷町に新たに公園を整備し、地域住民の憩いの場を提供。(茶屋川公園)



子どもの遊び場、高齢者の健康増進の場に
(茶屋川公園イメージパス)

- ◆(仮称)刈谷スマートインターチェンジの整備に合わせた周辺道路の一体的な整備。
- ◆ユニバーサルデザインタクシーを購入するタクシー事業者に対し、車両購入費用を一部補助。
- ◆刈谷駅北地区に商業施設や住宅、観光案内所などが複合した施設を整備する民間事業者を支援。



多様な駅前機能の充実を図る
(刈谷駅北地区のイメージパス)

教育文化分野・・・

生きる力を育み生きる喜びを実感できるまちづくり

- ◆全小学校の普通教室に空調設備を設置することにより、暑さ対策を強化し、児童の安全を確保。
- ◆市民のスポーツ需要への対応のため、老朽化した刈谷球場のスコアボードの改修の実施設計。
- ◆市内外の人が刈谷の歴史や文化財について学ぶことのできる歴史博物館を開館。

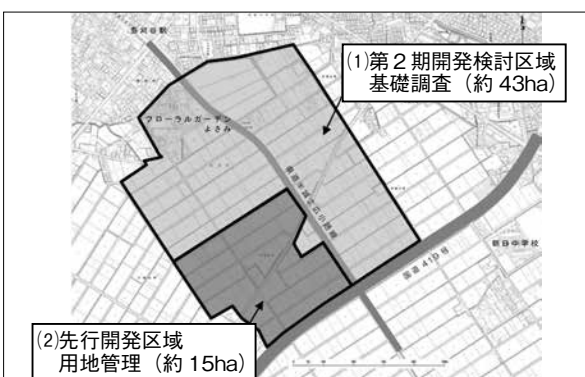


刈谷市の歴史に親しみ学ぶことのできる拠点
(歴史博物館のイメージパス)

産業振興分野・・・

人と技術で賑わいを創り笑顔で働き続けられるまちづくり

- ◆特定求職者雇用開発助成金の支給決定を受けた市内の事業所に対し、雇用に係る費用を補助。
- ◆市内の事業所を勤務地とする中小企業の経営者・従業員が対象の研修を受講した場合の費用補助。
- ◆工業系拡大市街地である刈谷依佐美地区の基礎調査、用地管理を行い、企業立地を推進。

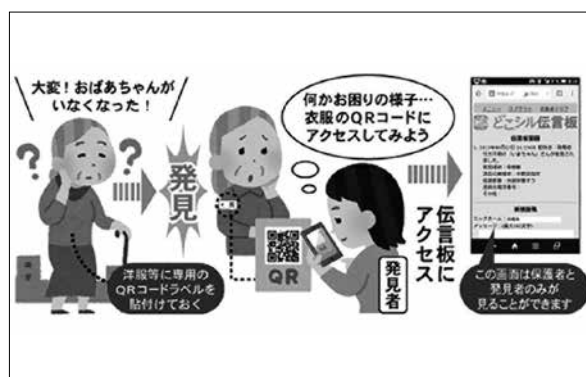


刈谷依佐美地区第2期開発検討のための基礎調査

福祉安全分野・・・

支えあいみんなが元気で安心して暮らせるまちづくり

- ◆富士松北、小高原、朝日幼稚園の預かり保育の時間を拡張。(早朝・延長区分を新設)
- ◆自主防災会に対し、防災施設整備、防災資器材整備、防災活動に要する経費の補助を拡充。
- ◆事前登録者にQRコード付シールを配布し、行方不明高齢者などに対する情報提供体制を強化。

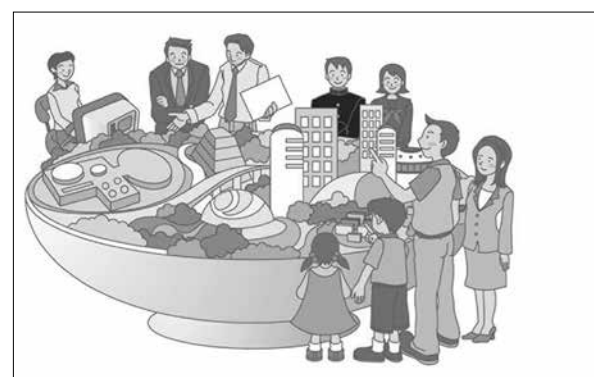


刈谷市メール配信サービス上に
SOSネットワークのカテゴリを追加

計画推進分野・・・

市民と行政の信頼と協働で築くまちづくり

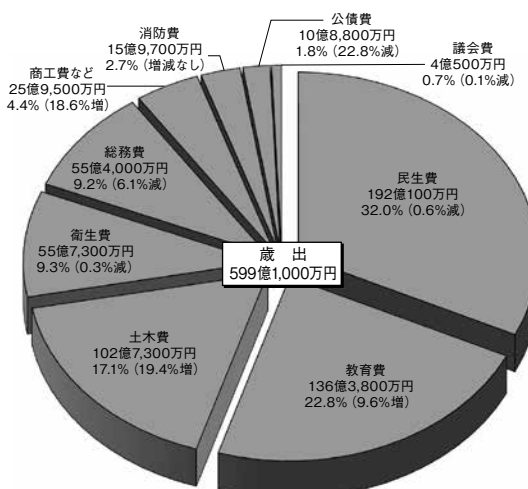
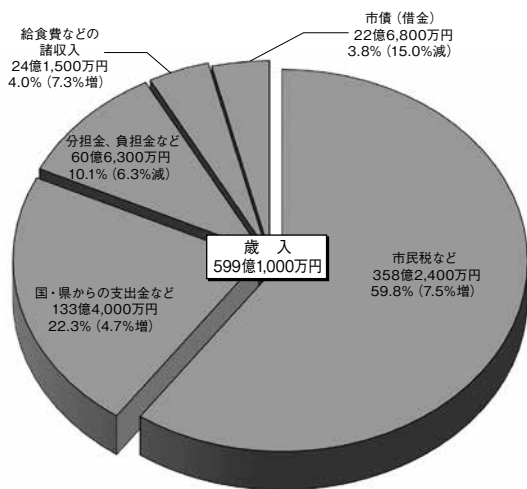
- ◆刈谷駅南口広場、市役所本庁舎、刈谷ハイウェイオアシスなどに無料Wi-Fi環境を整備。
- ◆スマートフォン向けアプリを開発し、市政情報や緊急情報などを効果的に提供。
- ◆社会情勢や市民ニーズを反映し、新たなまちづくりの指針となる第8次総合計画の策定に着手。



刈谷市の最上位の行政計画を策定へ

一般会計の内訳

() 内は対前年度比



〈国・県からの支出金などの内訳〉国庫支出金、県支出金、地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、地方交付税、交通安全対策特別交付金
 〈分担金、負担金などの内訳〉分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金
 〈商工費などの内訳〉労働費、農林水産業費、商工費、災害復旧費、諸支出金、予備費
 (注) 金額は百万円単位、割合は小数点以下第一位で四捨五入などしているため、総額や割合と一致していない場合があります。

30年度予算の総額

会計名	本年度	前年度比較	伸び率
予算総額	929億8,600万円	14億3,600万円	1.6%
一般会計	599億1,000万円	24億6,000万円	4.3%
特別会計	229億700万円	▲9億2,900万円	▲3.9%
刈谷小垣江駅東部 土地区画整理事業	7億4,400万円	2億3,400万円	45.9%
刈谷野田北部 土地区画整理事業	1億800万円	▲900万円	▲7.6%
国民健康保険	120億1,400万円	▲17億円	▲12.4%
後期高齢者医療	18億1,200万円	1億5,700万円	9.5%
介護保険	82億3,000万円	3億8,900万円	5.0%
企業会計	101億6,900万円	▲9,500万円	▲0.9%
水道事業	39億1,800万円	9,700万円	2.5%
下水道事業	62億5,200万円	▲1億9,200万円	▲3.0%

※百万円単位で四捨五入しています

主な議案 3月 定例会

今回は刈谷市歴史博物館条例の制定についてなどです。(議案一覧は、次ページの議決結果一覧表を参照ください)

質疑については、主なものを中心に、要約して掲載します。

単行議案

条例議案

■建物等の買入れについて
観光案内所、通路及び広場として利用

問 民間事業者が再開発事業を主導することとなった理由は、

答 平成11年に法定再開発事業の実現に向けて準備組合が設立され、市も中心となり協力を

してきたが、事業の実現には至らなかった。この経緯を踏まえ、

スピード感のある、法に基づかない民間主導による再開発の手法を関係権利者が要望したため

である。

問 リースではなく、買入れにした理由は。

答 事業者は、地権者である市が望む施設を整備し、市がこ

れらを取得することを前提に事業を進めてきている。市として

も継続的に公共施設として利用していくためには、リースでは

なく、取得することが必要であると考えるためである。

■刈谷市歴史博物館条例の制定について
次世代を担う子どもたちが郷土の歴史に親しみ、学べる場を

刈谷市歴史博物館の設置に伴い制定するもので、平成31年3月24日から施行します。

問 郷土資料館との関連性は、

答 歴史博物館は、本市の歴史資料の保存継承、調査研究、

また、その活用を通じて利用者が本市の歴史に親しみ、学ぶこ

とのできる拠点となるよう整備を行っているが、郷土資料館では、本市の歴史の中で特に、昭和の時代の教育や民俗に関する資料の保存活用を分担していくことを考えている。

問 博物館法では、登録博物館、博物館相当施設、博物館類似施設の3分類があるが、本市の博物館はどの分類を目指すのか。

答 登録博物館、博物館相当施設、博物館類似施設の3分類があるが、本市の博物館はどの分類を目指すのか。

問 博物館法では、登録博物館、博物館相当施設、博物館類似施設の3分類があるが、本市の博物館はどの分類を目指すのか。

答 登録博物館、博物館相当施設、博物館類似施設の3分類があるが、本市の博物館はどの分類を目指すのか。

問 博物館法では、登録博物館、博物館相当施設、博物館類似施設の3分類があるが、本市の博物館はどの分類を目指すのか。

答 登録博物館、博物館相当施設、博物館類似施設の3分類があるが、本市の博物館はどの分類を目指すのか。

問 本市の博物館においては、他の博物館などからの信用、信頼を高め、重要文化財などを借用しやすくするために、登録博物館を目指す。

■刈谷市介護保険条例の一部改正について
第1号被保険者の介護保険料額の改正など

介護保険法の一部改正等に伴い改正するもので、平成30年4月1日から施行します。

問 保険料が上がる理由は。

答 サービス費用の見込額が増加したためである。その要因は、要介護認定者数の増加、平成30年度から32年度までの第7期介護保険事業計画における新たな施設などの整備、介護報酬の引き上げ、地域区分の見直し

である。

問 保険料を下げる手段として、介護保険基金の取り崩しがあると思うが、基金の残高と取崩額は。

答 介護保険基金の平成29年度末の残高の見込みは、約3億9千万円で、第7期においては、基金を全額取り崩すことにより、保険料の上昇を抑えている。

■刈谷市路上喫煙の防止に関する条例の制定について
喫煙者而非喫煙者が共存できる社会を創出し、安心安全で快適な生活環境を

路上喫煙の防止を推進するため制定するもので、平成30年4月1日から施行します。

問 路上喫煙禁止区域を指定するまでのスケジュールは。

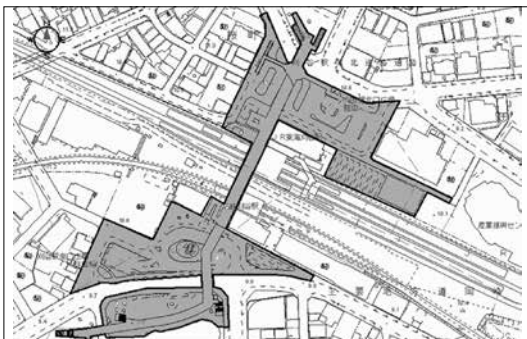
答 平成30年4月1日に本条例を施行し、路上喫煙禁止予定区域の住民や関係団体などの意見を聞いて禁止区域を決定する。その後、告示を行い、市民だ

りなどで周知を図るとともに、路面標示を行うなど、遅くとも30年10月までには禁止区域を指定する予定である。

問 禁止区域の拡大予定は。

答 現時点では刈谷駅周辺の一定の区域を禁止区域として指定することを予定している。

■その他、国家公務員退職手当法の一部改正に鑑み、刈谷市職員の退職手当の減額について、市内の民間事務所との給与・退職金の金額差がさらに広がり、優秀な人材が市役所に集まらなくなる点から反対であるという意見や、退職手当は、退職後の生活を支える重要なものであり、現行の支給水準を見込んで生活設計を立てている。今回の改正は、公務員労働者の権利を侵害するものであり、認めることはできないとの意見もありました。が、採決しました結果、原案のとおり可決しました。



路上喫煙禁止予定区域 (刈谷駅周辺)

補正予算議案

全議員で構成する予算審査特別委員会を経て、企画総務、福祉産業、建設、市民文教の各分科会で審査されました。

3月22日に再度予算審査特別委員会を開催し、各分科会での審査結果について、各分科会委員長より報告を受け、23日の本会議において原案のとおり可決されました。

また、市税等還付事業、空調設備整備事業などが本会議最終日に上程され原案のとおり可決されました。

補正する額(一般会計) 54億5,621万5千円

補正後の予算(一般会計) 638億7,116万2千円

補正後の予算総額(全会計) 984億971万円

【主な事業】
依佐美中学校大規模改修事業を実施し、一部の経費が県の交付金の対象となりました。

■陳情の結果
今回市民の皆さんから提出された陳情1件は、関係する委員会審査された結果、不採択となりました。

▼刈谷城建設に関する陳情

委員会の動き

委員会では、議案、陳情の審査のほか、主に次のことが話し合われました。

企画総務委員会

横断歩道での歩行者保護強化
問 横断歩道での一時停止違反検挙数の推移は。

答 刈谷警察署管内における横断歩行者等妨害等違反の検挙数は、平成28年の218件から、29年は1,103件と大幅に増加している。

問 取り締まり強化により、人身事故件数に変化はあるか。

答 平成29年の人身事故件数は851件で前年の887件より36件減少している。刈谷警察署からは、引き続き取り締まりを強化していくと聞いている。

■その他「街頭防犯カメラ」職員の交通安全「納税相談」などが話し合われました。

福祉産業委員会

ヘルプマーク
問 ヘルプマーク導入に向け、県が行う取り組みは。

答 ストラップ型のヘルプマークを作成し、平成30年6月に市町村に配付するとともに、啓発用のポスターやリーフレットを学校などに配付し、普及を図っていく予定である。

問 市が行う取り組みは。

答 7月頃から義足、人工関節使用者、内部障害や難病の方など、援助や配慮を必要としている方に配付していく予定である。

■その他「畑の灌漑」「中小企業の連携」「依佐美工業団地」などが話し合われました。



あいち認証材を用い、補助対象となった下駄箱

※市民の方等から貴重なご寄附をいただきました。補正予算に計上し活用させていただきます。

・総務管理事業費として 46万2千円

・心身障害者福祉事業費として 33万8千円

・児童福祉事業費として 31万8千円

・公園事業費として 222万3千円

・体育振興事業費として 836万円

議決結果一覧表

(※) 賛否が分かれたもの

Table with 3 columns: Issue/Proposal, Decision, and Remarks. Includes items like '損害賠償の額を定める専決処分について' and '刈谷市職員退職手当支給条例の一部改正について'.

3月定例会提出議案の賛否について

賛否が分かれたものについて掲載します。(○：賛成 ×：反対 —：欠席)

Large table showing voting results for various proposals. Columns include '議案名及び議決結果', '議員名', and '議員団'. Rows include '刈谷市職員退職手当支給条例の一部改正について' and '刈谷市一般会計予算'.

建設委員会

刈谷市住生活基本計画

問 住宅マスタープランと住生活基本計画との主な変更点は、子育て世帯を中心とする市内への定住を促すための居住誘導、高齢者や障害者などの住まいの供給を促進するための住宅セーフティネット制度、空家等対策に関する考え方を取り入れている部分である。

問 住まいづくりに関する将来ビジョンは。

答 本計画の基本方針に基づき、子育て世代の定住を促進するとともに、市民が地域への誇りや愛着を持ち、安心して快適に暮らすことができる住まい・まちづくりの実現を目指す。

その他「立地適正化計画」佐美工業団地地区計画「刈谷城」などが話し合われました。

市民文教委員会

第2次刈谷市文化振興基本計画

問 第1次計画との違いは。

答 第2次計画においては、国や県の動向も踏まえながら、「まちづくり」「観光との連携」「歴史や文化財の活用」を基本方針として、より明確に打ち出した点である。

問 文化芸術団体の後継者不足をどう改善していくのか。

答 市内公共施設を活用し、団体の発表の機会づくりを支援する。また、将来の担い手づくりのために団体や学校と連携し、子どもたちが地域の伝統芸能に触れられる施策を行いたい。

その他「子育てアプリ」「出前講座」「不登校」などが話し合われました。

質問・質疑

市政のようを問う

この定例会では2月28日・3月1日・2日の3日間に、18人が登壇し38項目にわたり、市政についてたずねる質問・質疑が行われました。一人二項目を要約し、掲載します。

質問・質疑項目（発言順）※印が掲載した項目です。

- 蜂須賀 信明 議員
 - ※1 生活環境整備について
 - ※2 刈谷市の教育行政について
- 伊藤 幸弘 議員
 - ※1 教員の勤務負担軽減に向けた改善策について
 - ※2 市道の整備及び工事のあり方について
- 新海 真規 議員
 - ※1 教育行政方針について
 - ※2 電線類地中化について
- 新村 健治 議員
 - ※1 生活保護行政について
 - ※2 教職員の多忙化改善の取り組みについて
 - ※3 安心・安全のための災害対策について
- 黒川 智明 議員
 - ※1 刈谷市の観光行政の推進について
 - ※2 今後の刈谷市の行政施策の推進について
- 山本 シモ子 議員
 - ※1 児童保育の受け入れの充実について
 - ※2 教育行政方針について
 - ※3 施政方針と予算案について
 - ※4 核兵器禁止条約制定への認識について
- 中嶋 祥元 議員
 - ※1 刈谷市のスポーツ振興施策について
 - ※2 刈谷市の教育について
- 渡邊 妙美 議員
 - ※1 刈谷市の教育について
- 星野 雅春 議員
 - ※1 刈谷市政の課題について
 - ※2 教育行政方針について
- 清水 俊安 議員
 - ※1 県道小垣江安城線の整備について
 - ※2 二級河川江添川の整備について
 - ※3 国民健康保険の県単単位化について
- 白土 美恵子 議員
 - ※1 平成30年度当初予算・主要事業について
 - ※2 胃がん対策について
 - ※3 就学援助制度における入学準備金の前倒しについて
 - ※4 「日本女性会議」の刈谷市での開催について
- 鈴木 浩二 議員
 - ※1 平成30年度施政方針に伴う予算編成について
 - ※2 下水道の現状と今後の取り組みについて
- 外山 鉦一 議員
 - ※1 下水道の現状と今後の取り組みについて

すべての質問・答弁がホームページから映像でご覧になれます。「刈谷市議会」で検索し、「議会映像を見る」をクリックしてください。

蜂須賀 信明 議員

教職員の働き方改革における部活動のあり方の検討を

朝の部活動練習の縮減など、よりよい部活動になるよう支援する

【問】教職員の過重労働の要因とされている部活動について、本市での対応は。

【答】中学校では、3月の学年末テストから10月の2学期中間テストまでの期間は、授業後から日没までの時間が十分にあり、授業後の練習時間が取れることから、朝の部活動は行わず、この期間以外の日没が早い時期は朝の部活動を行っていく。また、小学校では原則朝の部活動を廃

止するよう進めている。

【問】働き方改革の最大の目的は、学校の完全閉校日の設定である。他市では連続19日間の事例があるが、本市はどのような対応を考えているか。

【答】学校における電話や来客対応を行わない日を設定することで教職員が休暇を取りやすい環境をつくる。このような日を夏休みに設定することを前提とし、期間を検討していく。

伊藤 幸弘 議員

外国語教育における新学習指導要領の円滑な実施に向けた対応を

英語力向上と教員の負担軽減を図る取り組みを進めていく

【問】教員の長時間勤務が問題視される中、次期学習指導要領では小学校の英語学習が強化されるが、その対応は。

【答】2020年度から、3・4年生は新設の外国語活動として年間35時間、5・6年生は英語が教科化され年間70時間となる。そのため本市では、平成30年度からALTを増員し、子どもたちの英語力向上と教員の負担軽減を図る取り組みを進める。

【問】小学校の英語学習時間増加への授業時間確保の対応は。

【答】平成30年度から準備段階として、3・4年生には新たに年間15時間、5・6年生は現在の35時間に15時間加え、年間50時間の授業を計画している。それぞれ影響の少ない総合的な学習の時間を15時間減じ、これを英語活動に充て、負担を最小限に留める。2020年度に向けては、今後調査・研究を進める。

新海 真規 議員

子どもたちの自由な発想を尊重する道徳教育を

授業の中で成長した姿を積極的に受け止め励ましていく

【問】教育は、次世代を生かす子どもたちを主役とした、のびのびと自由闊達な現場であり続けなければならない。平成30年度より道徳が教科化される。教科書の選定は非常に重要であると考えますが、どのような教科書が授業で使用されるのか。

【答】小学校では、西三河教科研用図書採択地区協議会での協議結果に基づき、光村図書「きみがいちばんひかるとき」を使用する。



道徳の教科書「きみがいちばんひかるとき」

【問】道徳科の評価方法は。

【答】数値による評価は行わない。授業を受ける中で子どもが

見せた姿や振り返りの記述から、その子どもがいかに考えを深め成長したかを積極的に受け止め、励ます評価を文章表現で行う。

新村 健治 議員

生活保護の申請などに対して丁寧な対応を

様々な制度への助言や手続きにより、自立を支援

【問】生活保護が必要かどうかは窓口で判断するのではなく、申請を受けて初めて審査を始めるべきで、丁寧な対応が必要と考えるが、本市はどのように対応しているか。

【答】生活保護や生活困窮者自立支援だけでなく、貸付制度や年金給付、失業給付、医療費軽減など、利用可能な制度への助言や手続きを行い、自立につなげられるよう支援している。

なお、その評価について、高校などの入学者選抜の合否判定に活用しないよう文部科学省より通知を受けている。

黒川 智明 議員

刈谷ブランドを確立し、地域の活性化につながる施策を

刈谷ベストセクションなどで新商品開発・販路拡大を支援していく

【問】刈谷市が考える観光とは。

【答】「住んでよし、訪れてよしの観光交流都市」を観光のコンセプトとし、話題のグルメや買い物などで本市を訪れることも一つの観光として捉えている。

黒川 智明 議員

刈谷ブランドを確立し、地域の活性化につながる施策を

刈谷ベストセクションなどで新商品開発・販路拡大を支援していく

【問】「新たな視点と新たな付加価値」をテーマに「刈谷ベストセクション」を実施している。商工会議所が各店舗を直接訪問し、新商品開発、販路拡大や集客などの経営課題に対する支援を行い、総合的な経営力の強化を図っている。



新たな視点と付加価値を

【問】児童クラブ入会基準に「父母、祖父父母のほか、同居する、又は、同一敷地内及び同一敷地内とみなされる場所に住ん

山本 シモ子 議員

すべての放課後児童クラブで受け入れ学年の拡大を

施設の整備と支援員の確保を進めながら拡大していきたい

【問】児童クラブ入会基準に「父母、祖父父母のほか、同居する、又は、同一敷地内及び同一敷地内とみなされる場所に住ん

でいる16歳以上70歳未満の親族を含む」という厳しい基準がある。そのため、夜勤で働く18歳の者が昼間家庭にいる場合、児

- 加藤 廣行 議員**
 - ※1 平成30年度施政方針について
- 上田 昌哉 議員**
 - ※1 刈谷市の人口動態と財政について
 - 2 改正踏切道改良促進法について
- 松永 寿 議員**
 - ※1 高齢者の働き方について
 - 2 高齢者住宅福祉サービスについて
 - 3 インフルエンザ予防接種について
- 神谷 昌宏 議員**
 - ※1 タウンミーティングでの市民の声について
 - 2 特別支援教育について
- 鈴木 絹男 議員**
 - ※1 タウンミーティングでの市民の声について

童クラブを利用できない事態が発生するが、この基準は、いつ作ったのか。16歳以上を保護者とする基準は外すべきである。

答 制度開始当初から同居の親族は、全て保護者とみなしていたが、平成27年度以降、学生については、保護者から除くことと改めた。

問 富士松北、富士松東、平成、日高及び小垣江東児童クラブでは、どのような整備をして、6年生まで受け入れを拡大することができたのか。

答 現状の施設、支援員で対応することができたためである。

中嶋 祥元 議員
スポーツ振興のためのきっかけづくりと施設の充実を
 —市民の声を第3次スポーツマスタープランに反映する—

問 第3次スポーツマスタープランの重点は。

答 スポーツ参画人口の拡大を一つの柱としたい。また、ホームタウンパートナーチームの協力により、「スポーツのまち刈谷」としての魅力向上を図る。

問 スポーツ少年団の人口は10年前から38%減少し、危機的状況だが、対策は。

答 市民ニーズをきめ細かく把握し、施策へ展開していく。

渡邊 妙美 議員
日本女性会議を成功に導くための取り組みを
 —会議の意義を周知し、多くの参加者を募る—

問 2020年に刈谷で開催されることが決まった日本女性会議とは。

答 毎年全国各地から約2,000人が集い、男女共同参画、女性の活躍をテーマとした会議で

この年に、開催する意義は。

答 本市がこれまで取り組んできた男女共同参画に関する様々な事業を前進させる機会となり、市民意識の啓発にもつながっていくと考える。

星野 雅春 議員
法人市民税の一部国税化が進む中、健全財政の維持を
 —市民生活に影響のないよう安定的な財政運営に努める—

問 裕福な都市の税収が地方の税収格差是正の財源にされることについて市の見解は。

答 今後、法人市民税の一部国税化の割合拡大や地方消費税配分基準の見直しの検討もされていることから、地方間で税収の再分配がさらに進むものと懸念しており、企業誘致などこれまでの自主的な努力に水を差しかねない。法人市民税が景気に左右されやすい税であることか

清水 俊安 議員
江添川の浸水被害再発防止策の進捗状況は
 —県が行う樋門の改修工事が梅雨入り前に完了するよう市も協力する—

問 愛知県が実施した前川左岸樋門の耐震性及び高浜市との市境にある江添川の排水能力に係る調査検討の結果は。

答 東日本大震災級の地震に、樋門が被災しても、ゲートの閉閉に問題がないことを確認した。また、江添川の排水能力に関しては1時間当たり62ミリとなる降雨に対して、樋門の能力不足が確認され、県及び市は改築が必要と考えている。



整備中の前川左岸樋門

白土 美恵子 議員
新入学児童生徒学用品費を入学前に前倒しして支給を
 —平成31年度から新小・中学1年生に入学前支給を実施—

問 新入学児童生徒学用品費は、補助金交付要綱上、国庫補

の市区町村で入学後の支給となっている。今後、支給時期の前倒しをする考えは。

答 予算措置を含めた制度改正を行い、平成31年4月の新小1年生と新中学1年生を対象に入学前支給の実施をする予定である。

問 新制度へスムーズに移行するための対応は。

答 平成30年度は、9月上旬に在校生の保護者に対し、新制度の概要をまとめたチラシを配布し、新入学児の保護者に対しては、9月中旬の就学時健康診断の際に案内をする。また、教職員には、平成29年度3月の小中学校校長会、担当者には、30年度4月の県実務担当者会で、周知徹底する。

鈴木 浩二 議員
刈谷市交通安全マップを活用し、今後の交通安全対策を
 —交通安全対策の重要な柱とし、年間死傷者数800人以下を目指す—

問 交通安全対策事業とは。

答 ガードレール、転落防止柵、区画線の塗装など道路の交通安全施設を整備することで交通安全の推進を図る事業である。

問 交通安全対策事業予算を1,700万円増額した理由は。

答 地域防災計画に位置付けられた緊急輸送道路など、市内の幹線市道については、区画線の再塗装が早急に必要な路線が多く、新たな取り組みとして対応する必要があるためである。

問 平成27年度の交通事故死傷者数は1,053人、平成29年度は1,047人となっている。第10次交通安全計画にある



交通事故のない社会を目指して

外山 鉦一 議員
汚水管の長寿命化対策を行い、快適な生活環境を
 —ストックマネジメントの導入で、安定した事業運営を図る—

問 汚水管の総延長と耐用年数50年を経過した汚水管の状況は。

答 平成28年度末現在の総延長は約690kmでそのうち、約25kmが耐用年数を経過し、全てが中心市街地を含む中部処理分区にある。

問 老朽化が進んだ汚水管の対策は。

答 平成13年度から23年度に行った調査結果を基に、延命化

加藤 廣行 議員

刈谷球場を移転させ、亀城公園と一体となった魅力ある整備を

公園周辺整備の中で、改めて方向性を検討していく

刈谷球場は昭和25年に建設された。現在、交通量の多い道路に隣接しており、危険である。球場を移転させ、跡地を亀城公園と一体となった魅力あるものに活用することを検討しているか。

現在の敷地が狭く、住宅地に隣接していることから、近隣住民にご迷惑をかけてきた経緯を踏まえ、現在の土地での再築か移転建築も含めて検討する必要がある。

移転となると時間も財源も必要となるため、早めに検討してはどうか。



平成6年に改築された刈谷球場

刈谷市まちなかマネジメント構想に基づき、平成29年度に策定している刈谷市中心市街地まちづくり基本計画において、亀城公園周辺エリアの整備方針を検討している。今後は、財政状況や他の事業との関係を見ながら検討していく。

上田 昌哉 議員

徐々に課題が増す市の人口動態に対し、危機感を持った対応を

生涯の居住地として安心安全を提供し続けられるよう努める

ファミリー層の転出が多いが、どう対応しているか。

本市が子育てしやすく、居住地としての魅力が高いまちであると認識していただけるよう、子育て・教育施策を充実させることや住居系新市街地の創出などに取り組んでいる。

本市は住みやすいが、地価が高いため、家を購入する意欲を高める施策が今後さらに必要と考える。一方、若年女性と

乳児の数が減少しており、未婚率も高い傾向にある。結婚対策に関する市の補助は。

現在、婦人会が中心となっており、結婚支援事業に対しては補助をしており、引き続き支援していく。また、その他の団体などが行う結婚支援事業は、内容によっては既存の各種補助金が対応できると考えており、事業に協力できるようにしていきたい。

松永 寿 議員

将来にわたる活力維持のため、高齢者の活躍推進を

高齢者が充実した人生を過ごせるよう引き続き支援する

県内高齢者の就業状況は。

愛知県労働局によると、平成29年6月1日時点で65歳以上の常用労働者は約9万人で、そのうち約2万4千人が70歳以上である。また、7月から9月の65歳以上の求職者数は約5千

人で、完全失業率は1.2%である。高齢者の常用労働者数は年々増加しており、完全失業率は前年の同時期よりも減少しているため、高齢者の就業状況は改善していると考えられる。

高齢者雇用の問題は。高年齢者が人手不足である一方で、多くの高齢者が職を求めている現状である。これは企業側のニーズと高齢者の希望が一致していないためと考えられる。

企業が高齢者の希望が一致していないためと考えられる。

本市における高齢者の就業支援施策はどのようなか。

高齢者の早期再就職支援や高齢者が生涯現役で働くためのセミナーを開催している。

高年齢者の早期再就職支援や高齢者が生涯現役で働くためのセミナーを開催している。

神谷 昌宏 議員

市民の声に耳を傾け、公園に健康遊具の設置を

既存公園についても状況を考慮し検討していく

会派で開催したタウンミーティングの中で、公園へ健康遊具を増やして欲しいという要望があった。現在の健康遊具の整備状況は。

6つの公園に設置している。このうち3つの公園では、健康遊具ゾーンを設け効果的な体力づくりが可能な遊具を設置している。また、住民参加により計画策定を行った3つの公園では、地域の方の意見により、

健康遊具ゾーンを設け効果的な体力づくりが可能な遊具を設置している。また、住民参加により計画策定を行った3つの公園では、地域の方の意見により、

公園の利用状況や既存の公園施設の設置状況、地域間の配置バランスなどを考慮し、設置を検討していく。

井ヶ谷町の伊勢山公園を整備し、健康遊具を設置する予定である。既存の公園に設置する考えは。

鈴木 絹男 議員

地元住民の強い願いである野田市民館の早期建設を

2020年度の開設に向け調整を進めていく

現在、野田地区には市民館がない状況である。平成28年3月議会でも市民館の必要性を訴えてきたが、その後の動きは。

市民館の一刻も早い建設は、地元の強い願いである。今後のスケジュールは。

3月27日に地元説明会を開催し、30年度に用地取得、31年度に建設を行い、その翌年度の開設を予定している。

完成後は地区が主体となって運営を行い、地区住民が利用することになる。地区の要望や意見は取り入れているか。

意見や要望を可能な限り取り入れている。



いきいきと活躍する高齢者(路上喫煙防止バトロール)

（主な答弁者・・・都市政策部長）

休憩用途を兼ねたベンチタイプの健康遊具を設置している。

今後の設置予定は。

小垣江町の伊勢山公園を整備し、健康遊具を設置する予定である。

既存の公園に設置する考えは。

公園の利用状況や既存の公園施設の設置状況、地域間の配置バランスなどを考慮し、設置を検討していく。

（主な答弁者・・・教育部長）

市民館の一刻も早い建設は、地元の強い願いである。今後のスケジュールは。

3月27日に地元説明会を開催し、30年度に用地取得、31年度に建設を行い、その翌年度の開設を予定している。

完成後は地区が主体となって運営を行い、地区住民が利用することになる。地区の要望や意見は取り入れているか。



地元説明会の様子

議会トピックス

議員研修を実施(2月8日)

弁護士の太田雅幸氏をお招きし、「議員が守るべき政治倫理」についてご講演いただきました。

交通安全オープニングキャンペーンで交通安全の啓発(4月6日)

春の全国交通安全運動の気運を高めるため、刈谷駅周辺で、「横断歩道は注意しろあ

講演では、約2時間にわたる、政治倫理についてや、各市町の特徴ある取り組みと本市の取り組みの比較や政務活動費の適正使用など様々な視点からの話があり、大変参考となるものでした。

「横断歩道は注意しろあんパン」を配布し、交通安全を呼びかけました。一人ひとりが日頃から交通安全を意識し、交通事故のないまち「刈谷」となるように、今後も啓発活動に努めてまいります。



議員研修会の様子



白あんパンを配布

編集後記

かけはし

◆新緑の季節となりました。この春、期待に胸ふくらませ入学・就職をされた皆様、おめでとうございます。新しい環境に慣れない方もいらっしゃるかと思います。市内には、たくさん

る児童・生徒を対象とする刈谷市立刈谷特別支援学校を開設しました。本学校の通学区域は、刈谷市、知立市、高浜市となります。今後も子どもたちに優しい刈谷市であり続けられるよう、市議会としてもより一層努力してまいります。

◆刈谷市議会では「市民に開かれた議会」を目指しています。是非、議会の傍聴にお越し

◆4月には、肢体に不自由があ

(議会広報委員会)